



東海・北陸地区  
TEL: 052-788-6053、6054  
<http://www.sssj.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

●北海道地区  
TEL: 011-706-2019  
<https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/soumubu/jinjika/saiyo/index.html>

●近畿地区  
TEL: 075-753-2230  
<https://kinki-ssj.adm.kyoto-u.ac.jp/>

●東北地区  
TEL: 022-217-5676  
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/>

●中国・四国地区  
TEL: 082-424-5616  
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/jinji/shiken/>

●関東甲信越地区  
TEL: 03-5841-2769、2770  
<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

●九州地区  
TEL: 092-802-2340  
<http://www.shiken.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会 Webサイト

<http://www.sssj.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

@shikenjimu



試験情報、説明会情報など、最新の情報が満載。  
ぜひアクセスしてみてください!

東海・北陸 職員 検索

編集・発行

東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会 職員採用試験事務局  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学総務部内 TEL: 052-788-6053、6054

学び、地域、未来をつなげる。

# WORK GUIDE BOOK

東海・北陸地区  
国立大学法人等  
技術系  
職員業務案内

技術系職員  
特別編集版



2019

※東海・北陸地区 国立大学法人等職員業務案内を併せてご覧ください。





## 国立大学法人等の技術職員は、 高度な専門知識と技術力を活かし、 人材育成や学術研究の発展を支える 魅力的な仕事に携わっています。

教育研究活動を通じ、優れた人材の育成や学術研究の発展に貢献することを使命とする国立大学法人等において、技術職員は、高度な専門知識と技術力をもって教育研究活動や管理運営を支えています。「最先端の研究活動における技術的サポート」「教育現場における学生への実験・実習指導」「キャンパスづくり・施設マネジメント」「省エネルギー対策」「環境安全衛生管理活動」など、技術職員の活躍の場は非常に多彩です。教育研究を支えるため、国立大学法人等において、「技術職」という個性を最大限に発揮してはいかがでしょうか？



### ◆国立大学法人等の「技術系」の採用試験とは？

国立大学法人等とは、①国立大学法人、②大学共同利用機関法人及び③独立行政法人（「国立高等専門学校機構」及び「国立青少年教育振興機構」）で構成されています。

これらの機関で働くためには、国立大学法人等職員採用試験に合格する必要があります。国立大学法人等職員採用試験には、「事務系」と「技術系」の区分がありますので、技術職員を目指す方は、「技術系」の区分を選択してください。



### ◆どのような専門分野の知識が必要？

国立大学法人等職員採用試験（技術系）では、電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学の区分ごとに募集を行っています。

※採用予定がない試験区分については、試験を実施しません。



### ◆業務の内容は？

技術系の業務には、①施設系技術業務と、②教育研究支援系技術業務の2つがあります。

①施設系技術業務は、大学等の施設（校舎等）の企画、設計、工事、維持管理等が主な内容です。電気、機械、土木、建築の4つの試験区分の合格者から採用します。

②教育研究支援系技術業務は、実験装置の開発・管理・運用、データ解析、学生の実験・実習における指導・助言等が主な内容です。電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学の11の試験区分の合格者から採用します。



### ◆申込から合格までの流れは？



※上記の「各機関」については、P21～をご参照ください。

### 目次

国立大学法人等の技術職員について	01
勤務条件及び福利厚生について	03
施設系技術職員業務紹介	05

職員の声(施設系)	07
教育研究支援系技術職員業務紹介	09
職員の声(教育研究支援系)	11

キャリアプロセス(施設系)	17
キャリアプロセス(教育研究支援系)	19
機関の紹介	21

## 勤務条件及び福利厚生について

### 勤務条件

採用されてから退職まで、働くうえで基礎となる勤務条件。  
各機関でそれぞれ定められていますが、ここでは一例を紹介します。

- 勤務時間** 〈1日〉7時間45分(週38時間45分)
- 休日** 土曜日、日曜日、祝日、年末・年始(12/29~1/3)
- 休暇等** 年次休暇/特別休暇/介護休業/育児休業 など
- 給与** 〈初任給〉本給月額約180,000円~220,000円程度(採用前の職歴等により決定されます。)
- 昇給** 原則年1回1月(1年間の勤務成績に応じて昇給)
- 手当** 通勤手当/期末手当/勤勉手当/扶養手当/住居手当/超過勤務手当/地域手当 など

### 福利厚生

充実した余暇活動は、やる気と元気を促す明日への活力源。  
職員が安心して職務に専念できるよう、様々な福利厚生を用意しています。

#### 健康保険・年金等

短期給付(健康保険)については、文部科学省共済組合に加入し、長期給付(年金)については、厚生年金に加入します。また、文部科学省共済組合で運用している積立貯金制度や福利厚生施設の利用ができます。

#### 宿舎

世帯向けや独身向けの宿舎を設置している機関があります。



#### 体育・文化施設

体育館・グラウンド・テニスコートなどを、昼休みや勤務時間終了後、休日に気軽に利用できます。また、附属図書館の蔵書なども利用できます。

### 研修

職員一人ひとりが必要な知識を身につけ、自分の能力を最大限に発揮できるよう、また、それぞれの現場の第一線で活躍できるよう、各種研修を通じて職員の能力開発にも積極的に取り組んでいます。

- 新規採用職員研修
- 中堅職員研修
- 技術職員(合同)研修
- 係長研修
- 幹部職員研修
- 語学研修、会計研修 など

## 施設系?

## 教育研究支援系?

### 具体的にはどんな業務をしているの?

技術職員には「施設系」と「教育研究支援系」の2つの種類がありますが、実際、どのような業務をしているのでしょうか?

次ページからは先輩職員たちの仕事の様子やリアルな声を掲載。  
仲間として同じ目標に向かって働く「あなたの未来の姿」をイメージしてみてください。

施設系技術職員業務紹介 P5~

職員の声(施設系) P7~

教育研究支援系技術職員業務紹介 P9~

職員の声(教育研究支援系) P11~



# 施設系技術職員 業務紹介

施設系技術職員の業務は主に、キャンパスの整備計画の立案や予算要求を行う「企画部門」、新築工事や改修工事の設計、発注、工事監理を行う「整備部門」、整備後の建物をメンテナンスし、維持管理する「管理部門」により成り立っています。

大学の施設系職員の魅力は、何よりも最先端の教育・研究の基盤づくりに施設整備を通して携われることです。また、キャンパスの整備計画から建設後の維持管理までトータルで関わることができます。加えて、学生や教員と協働しキャンパスづくりを進められることも大学の業務ならではの面白さがあります。

ここでは名古屋大学施設管理部の職員が、施設系技術職員の業務とその魅力について紹介します。

やりがいがある楽しい職場です。  
みなさん、私たちと一緒に教育研究の基盤となる  
キャンパスづくりをしましょう!!

名古屋大学 施設管理部  
 施設企画課 加藤(建築)、濱口(電気)  
 施設整備課 畑島(建築)、山下(電気)  
 施設管理課 杉下(機械)



## 企画部門

### 計画立案

### 予算要求

## 整備部門

### 設計・積算

### 工事監理

## 管理部門

### 維持管理

キャンパスを一つの“街”と見立て、個性・特色のある魅力あふれるキャンパスを形成するため「**キャンパスマスタープラン**」を策定しています。「キャンパスマスタープラン」では、自分達の大学の現状から課題、将来のキャンパスといった長期的な整備目標および中期的な整備計画を定め、これを軸に大学の方針と国の施策との整合性を図り、魅力あるキャンパス、高度な教育・研究や豊かな学生生活となる環境づくりの計画立案と国への予算要求を行っています。

「**キャンパスの創造**」という壮大なプロジェクトを担うとても重要な仕事です。



「名古屋大学キャンパスマスタープラン2016」で示した30年後のキャンパス像。実現を目指し業務に取り組んでいます。

キャンパスマスタープランに基づいた教育研究施設等の建設・改修に向け、国に予算要求を行います。要求にあたっては、教員等の利用者へのヒアリングを行い、要求内容について理解が得られるよう文部科学省等への説明を重ね、予算要求書を作成します。

予算要求では、概算金額や計画図はもとより、国の施策との整合性、教育研究の必要性・重要性、教育研究成果がもたらす効果などを取りまとめた書類も作成します。

**教員の教育研究を発展させるという想いを実現する一翼を担える業務**であり、予算化されると嬉しさもひとしおです。

#### ■近年整備された建物



C-TEFs

ノーベル賞を受賞した天野教授率いる最先端研究を行う建物です!!



アジア法交流館

留学生に日本文化に触れてもらえるよう茶室も整備しています。



ITbM

化学と生物学の融合研究を行う施設です。融合研究を促進させるミックスラボが特徴です。



音楽練習施設

有効活用されていなかった施設を音楽練習施設として改修し、学生のためのスペースを創出しました。

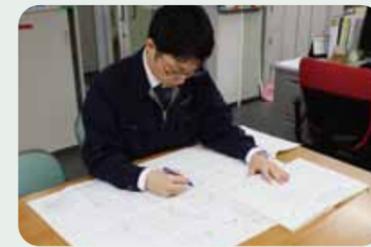
設計・積算業務は、利用者の要望を取り入れながら、予算を最大限活かし、コストバランスを考えて行います。学生寮から高度な研究施設まで、幅広い施設の整備に携わるチャンスがあります。

**設計によって、豊かな学生生活や先進的な教育研究成果につながる施設を生み出せるのが魅力**です。

キャンパスマスタープランを実現できるよう、デザインやエネルギー等をマネジメントするのも大学ならではの大事な仕事です。



建築系教員も交え、模型を確認しながら建物意匠を決めていきます。



自分達でも設計図面を描きますが、場合により設計を外注し、設計事務所が描いた図面をチェックします。

工事監理業務は、設計段階で計画したことを実現する仕事です。施工の段階で見えてくる問題点を改善し、利用者との密に打合せし、深く理解することで、利用者が満足できる質の高い建物を作っていきます。**建物が完成した時や自分のアイデアが実際に形となった時には、達成感があります。**



配筋検査の様子。構造に係る重要な検査です。

利用者だけでなく、建築設備系教員とも打合せを重ね、建物単体だけでなく、キャンパス全体を俯瞰し、よりよいキャンパス空間を創造しています。



設計段階で要求した施設・設備に対する性能が担保されるか、施工者とともに確認を行います。

安全で快適なキャンパス環境の維持を図るため、中長期の保全計画に基づき、施設設備の保全業務・更新工事を行っています。

また、環境問題・省エネルギーを踏まえた維持管理の分析・検討・見直しを行い、施設を有効活用するための施設設備の運用計画を立案しています。

**企画から管理まで一貫して関わっているからこそ、施設設備の最適な運用ができ、省エネや経費の節減にも取り組めます。**

**施設を運用管理する上で、維持保全や点検・調査等は重要項目であり、多様な知識や国家資格が必要となります。**



設備点検の様子。適切な維持管理により教育研究を縁の下で支えています。

この他に、落雷・漏水等による緊急的なトラブルにも対応しており、教育研究等に支障をきたさないよう早急な対応を心がけています。**トラブルが発生した際に教員や職員に頼られ、解決に導いて感謝されると大変やりがいを感じます。**



市野 貴大 Ichino Takahiro

所属：三重大学 施設部 施設管理チーム  
採用年度：平成28年度  
試験区分：建築

1日のスケジュール

8:30	メールチェック、1日の予定確認
9:30	修繕工事に関して業者と現場調査
11:00	プランニング
12:00	昼休み
13:30	工事に関する定例打合せ
15:35	現場監理
16:00	図面作成
17:15	業務終了

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** チームとして、キャンパスマスタープランや病院再開発を行っています。主に、学内建築物の修繕工事の監理業務を行っています。施設に不具合等が発生した場合は速やかに原因究明の調査を行い、修繕工事を行います。また最近では、新たに病院改修工事を担当することになり、設計・積算・施工監理を行っています。



かに原因究明の調査を行い、修繕工事を行います。また最近では、新たに病院改修工事を担当することになり、設計・積算・施工監理を行っています。

Q.2 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** この仕事のやりがいは、建物の設計、施工、維持管理、解体と全てに関われることです。また、前職では、建物を引き渡したら完了となる業務に携わっていましたが、現在の業務では使用者の声を身近に聞くことができるので、緊張感を持って仕事ができます。

Q.3 試験対策はどのようにされましたか

**A** 一次試験対策は、専門試験はないので、公務員試験の対策を主にしていました。特に過去問を解き、間違えた問題の復習、問題を解くことの繰り返しを行っていました。

二次試験対策は、それぞれの機関の特徴等はしっかりと理解し、そのうえで、志望動機、その機関でやりたいこと等をまとめていきました。

Q.4 仕事をする場合に、専攻分野と担当業務が異なっても大丈夫ですか

**A** 自分の専攻分野と、担当業務が合うことは少ないと思います。その中で分からない事が多く出てきます。ただ、先輩や上司の方がしっかりと教えてくれるので、少しずつ覚えながら業務を行っています。

Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** ただ職員になるのではなく、自分のやりたいこと、挑戦してみたいことをしっかりと考えて挑戦するようにしてください。



井幡 亮司 Iбата Ryoji

所属：富山大学 施設企画部 施設整備課(電気担当)  
採用年度：平成27年度  
試験区分：電気

1日のスケジュール(月曜日)

8:30	メールチェック、学内掲示板チェック
9:30	課内ミーティング、保全業務に関する打合せ
12:00	昼休み
13:00	現場調査
15:00	修繕工事特記仕様書作成
17:15	業務終了

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 現在の主な業務としては、電気・通信設備の設計・積算・保守・施工監理業務を行っています。特に私は附属病院を含むキャンパスにおりますので、電気のトラブルは致命傷です。電気の特長として目に見えないですし、場合によっては波及していきますので、なにかトラブルや不具合があればすぐに現場へ駆けつけ対応しています。私たちの仕事は目立たないかもしれませんが、大学には重要な電気設備が数多くあり、日々使命感を持ち取り組んでいます。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 私は前職で電気通信工事に勤務しており、その経験を活かし大学の設計・発注業務に携わってみたいという思いから施設系職員を目指しました。富山大学を選んだのは、地元の大学であり、私の母校でもあったので、母校で地元貢献をしたいと思ったからです。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 施設系職員の仕事は自分たちが考えたこと、提案したことが形として何十年も残っていきます。職員一人一人がより良いキャンパスを目指し設計、施工監理業務を行っており、その長い道のりを経て建物が完成したときの達成感が最大の魅力です。また、電気・通信設備にまつわる技術や設備は日々進化しているため、それらを大学にどのように活用し、設計するかということもこの分野の魅力の一つです。



り、その長い道のりを経て建物が完成したときの達成感が最大の魅力です。また、電気・通信設備にまつわる技術や設備は日々進化しているため、それらを大学にどのように活用し、設計するかということもこの分野の魅力の一つです。

Q.4 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 施設系職員は数多くの教職員の中でも希少で重要なポジションになります。キャンパスを創造することは私たちにしかできません。是非足を踏み入れてみてください。



河原 由貴 Kawahara Yuki

所属：名古屋大学 施設管理部 施設企画課 計画推進係  
採用年度：平成28年度  
試験区分：建築



Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 施設整備費補助金の概算要求、キャンパス再開発事業やキャンパスマスタープラン点検評価に関する業務を主に担当しています。毎年、大学の施設整備の目標であるキャンパスマスタープランに掲げた事業から、大学としての優先順位を検討し、学内合意を得て、文部科学省へ予算要求を行います。また、予算化されたキャンパス再開発事業の整備計画を推進する業務やキャンパスマスタープランが計画通り実施できているかを点検評価する業務にも携わっています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 私は1級建築士の資格を取得しており、前職では5年間、地方公務員の建築職として勤務していました。更に建築の専門性を高めたいと考え、施設の企画から、設計・工事監理、維持管理まで、建築の知識や技術を幅広く習得できる大学の施設系職員の仕事を選びました。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** この仕事の魅力は、一つの部署で建築・電気・機械を専門とする技術職員が連携し、組織全体で施設の企画から、設計・工事監理、維持管理に至るまでを責任を持って行っていること、また、最先端の教育・研究の基盤づくりに施設整備を通して携われることにあると思います。



また、職場環境としては、福利厚生が充実しており、女性でも働きやすいことも魅力です。現在、子育て中のため短時間勤務をしており、働くための制度が整っています。

Q.4 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 施設系職員の仕事は、キャンパスの施設整備にトータルで関わることができるやりがいのある仕事です。一緒に頑張りましょう。



花井 貴浩 Hanai Takahiro

所属：名古屋大学 施設管理部 施設管理課 機械エネルギー管理係  
採用年度：平成27年度  
試験区分：機械



Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** キャンパス内の研究施設、講義棟などに設置されている空調機や衛生設備などの保全・維持管理が主な仕事です。空調機については、東山キャンパス内だけで1万台以上あり、それぞれの施設に合わせた空調方式が設計されているため、方式に合わせた保全を行っています。衛生設備については、構内に埋設されている老朽配管から漏水が起きる場合があり、漏水箇所の特定・修繕などを行っています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 最先端技術の研究を行っている大学機関で研究者の方々の役に立てるような仕事をしたいと思ったからです。元々機械設備が好きだったので、機械分野で役に立ちたいと考え、この仕事を選びました。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 空調トラブルや漏水などが発生した場合、先生方や事務員の方々に頼っていただけます。不具合の原因を追究し、トラブルを解消した際には感謝のお言葉をいただくことができ、その時には大変嬉しい気持ちになります。また、



消防設備士(甲種第1類)を取得し、身につけた知識が仕事内容に活かされていると感じています。今後は、管工事施工管理技士の取得を目指しています。また、大学の国際化に向け、英語力の向上に励んでいます。

Q.4 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 個人の裁量に任せてもらえる部分が多く、非常にやりがいのある仕事です。また、まわりに優秀な方々が多く、成長できる職場だと思います。

# 教育研究支援系技術職員 業務紹介

科学技術の高度化・国際化の中において、大学等では基礎的、創造的、先端的な学術研究と教育が行われています。教育研究支援系技術職員の業務として研究面では、研究者とのパートナーシップを深めながら技術力を高め、創造性豊かな学術研究の発展に技術的なサポートを通じて貢献しています。また、研究に不可欠な**実験装置の開発と保守運用**、データ解析や**分析技術の高精度化・高度化**、**実験動物・薬物の適正な取り扱い**、施設の安全管理業務や**情報通信インフラ整備・セキュリティ管理・情報発信**などの業務に従事しています。教育面では、学生の実験実習や安全管理指導業務に従事しています。さらに、テクノチャレンジやサイエンスフェスティバル、ロボットコンテストなど地域貢献にも積極的に関わっています。

ここでは、いくつかの試験区分ごとの特徴的な業務や各試験区分共通の業務について紹介します。

## 化学

例 ホタル等発光物質



天然物抽出



技術職員

研究者

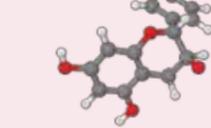


サンプリング

核磁気共鳴装置 (NMR)

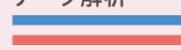


データ解析



構造決定

質量分析装置 (MS)



データ解析

主に共用機器の保守管理や研究者から依頼された様々なサンプルの調整や測定、データ解析等の研究支援を行っています。

また学生や若手の教員・研究者に装置の紹介や操作方法の説明、測定方法について一緒に考えるなどの技術支援も行っています。

## 電子・情報

インターネットサービスを構築・安定運用するためのハード・ソフト管理、障害対策、アプリケーションの開発等に従事します。

コンピュータウイルスに対応するためのセキュリティ対策、インターネット利用者への教育、啓蒙活動なども行っています。

また、電子回路の設計、試作による機器の制御、アプリケーションの開発など研究者の幅広い要求に応じています。



## 機械



精密な機械加工、ガラス加工など基礎研究を担う大学等ならではの独創的な機器の開発や研究者・学生院生を対象とした技術指導を、職員自らが高度な技術を駆使して行っています。

また、生命農学、環境医学、医学系など幅広い分野からの業務を行っており、国内外の研究機関との共同研究における技術支援においても広く貢献しています。

## 教育研究を支える技術者になりませんか？

執筆

名古屋大学 全学技術センター 広報係



写真掲載

富山大学、岐阜大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学  
自然科学研究機構 核融合科学研究所、生理学研究所  
富山高等専門学校、石川工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、岐阜工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校

## 農学、生物・生命科学

微生物や植物、食卓に欠かせない穀類、野菜類、果実等、豊かな森を作る樹木、海洋生物、実験動物や家畜、ヒトやDNA等、生物・生命科学に関わる多種多様な教育・研究の技術支援を行っています。



## 各試験区分共通の業務

### 教育

学生の実験・実習をサポートすることも技術職員の重要な業務です。学生の理解を深めるとともに、安全に作業を行うための指導・支援を行っています。特に、各国立高等専門学校では、中学校を卒業した直後の学生を教育するため、技術職員自らが実験実習や講義に携わっており、その姿は「先生」として映ることもあります。

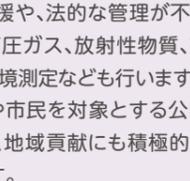
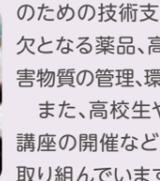


### その他

試験区分ごとの業務内容の枠を超えて技術提供を行うこともあります。例えば、電波や光、放射線を利用した特殊観測装置の開発・改良、フィールド観測支援(地震火山調査、気象、海象)、近年注目されているAI技術を利用した機器運用の精度向上化などでは、電子・情報、機械、物理など幅広い分野のバックグラウンドを有する職員が協力しながら業務にあたっています。

その他、地球環境にも配慮した環境安全衛生管理、安全教育のための技術支援や、法的な管理が不可欠となる薬品、高圧ガス、放射性物質、有害物質の管理、環境測定なども行います。

また、高校生や市民を対象とする公開講座の開催など、地域貢献にも積極的に取り組んでいます。





津島 一平 Tsushima Ippei

所属：静岡大学 技術部(浜松分室)  
採用年度：平成29年度  
試験区分：電気

1日のスケジュール

8:30	メールチェック、スケジュール確認
9:00	実習準備、教材の開発や研究
11:30	昼休憩
12:30	実習準備
12:45	実習開始、実習における教育支援
16:30	実習終了、片付け
17:15	業務終了

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 次世代ものづくり人材育成センターで工学部1年生の約560名を対象とした、ものづくりの基礎実習に対する教育支援を行っています。具体的には、1年生が後期末に参加するロボットコンテストに向けて、走行型のロボット教材を通じた基板の製作実習、デジタル回路実習、プログラミング実習を行っています。また地元の小学生、中学生、高校生に対しても同様に、ロボット教材を使ったものづくりの教育支援活動を行っています。

Q.2 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 一番は学生達に対してものごとを教えることができる点だと思います。特に自分が説明したことを学生達が理解してくれた時は嬉しいものです。また、教育支援を行うために自分自身も日々新たな知識を得たり、技術を身に付けることで、成長を感じることができる点もやりがいだと感じています。これまでに自分が専攻していた分野とは異なる分、学ぶことが多いことも魅力的です。

Q.3 出身校で専攻された分野はどういった内容ですか

**A** 理学部地球科学科を卒業しました。主には生物地球環境について学び、卒業研究では地下深部における微生物代謝について化学的に分析を行いました。

Q.4 試験対策はどのようにされましたか

**A** 筆記試験については主に問題集を繰り返し解いてポイントや解法を整理しました。特に文系科目は出題範囲が広いと感じていたため、ある程度分野を絞りながら早めに勉強を開始しました。働きながら試験勉強を行っていたので、短い時間で高い集中力を保つことを意識しました。またエントリーシートや面接試験の対策については、自己分析を徹底的に行いました。

Q.5 仕事をする場合に、専攻分野と担当業務が異なっても大丈夫ですか

**A** 元々の専攻分野でなくても、身近な先輩や先生方に聞けば、教えてくれるので大丈夫だと思います。



山下 雄太郎 Yamashita Yutaro

所属：石川工業高等専門学校 技術教育支援センター  
採用年度：平成28年度  
試験区分：化学



Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 化学の学習・実験支援を行っています。私も一緒に授業に参加し、AL(アクティブラーニング)を行っている学生の分からないことについてサポートします。高専低学年の研究指導にもプロジェクト学習として関わります。メインに扱うものが薬品のため化学物質についての知識が必要とされています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 大学の専攻を活かしたいという志向から、元々化学職に就こうと考えていました。高専の教育研究支援系技術職員は学生の学習支援が主な仕事です。学生と触れ合う機会が多いので逆に教えられることも多いです。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 大学や研究機関の技術職員の仕事が設備の保守・管理等であることにに対し、高専では主に学生への学習支援を行います。魅力は噛み砕いて学生に説明していくことで、自分の考えが簡潔にかつ明確になっていくことです。一方で、人に教えるためには知識を体系的に整理していかなければならないため、自らもスキルアップしていく必要があります。

Q.4 試験対策はどのようにされましたか

**A** 参考書を広げると、無機化学・有機化学以外にも様々な分野から化学では出題されています。実際にはあまり馴染みのない分野にも対応するためつながりを意識して学習していくことが重要だと感じました。また、面接等は学校や研究機関によって様々なので事前調査をしていくことが対策の基礎になると思います。

Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 学生が多く、賑やかな職場ですので興味があったら是非受験を考えてみてください。



渡邊 陽平 Watanabe Yohei

所属：鳥羽商船高等専門学校 テクノセンター第2技術室  
採用年度：平成29年度  
試験区分：機械



Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 主に電子機械工学科と商船学科機関コースの実験・実習の補佐及び準備、片付けを行っています。授業時間外では、教員からの加工依頼を受けたり、ロボコンなどの部活動の加工指導を行っています。また、公開講座や部活動が参加する各種コンテストなどの行事の準備、運営も担当しています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 大学で様々な工作機械を扱ってきたのですが、そのとき技術職員の方にご指導いただいたそこの知識や経験を、学生をサポートすることに活かしたいと考え、この仕事を選びました。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 事務系の職員と比べて学生との距離が近く、自分の仕事が生徒に反映されていることを身近に感じられるところが魅力だと思います。特に学生が興味を持って実習に取り組んでくれるときは、こちらも指導していてやりがいを感じます。

Q.4 出身校で専攻された分野はどういった内容ですか

**A** 工学部の機械工学科に所属していて、主に材料加工に関連した研究を行っていました。特に通電を用いた金属の加工を行っていました。

Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 技術職員の仕事は、初めは特に周りの同じ技術職員の方に助けをいただくことが多いので、信頼関係を大切にしたいと思っています。



古川 真衣 Furukawa Mai

所属：三重大学 工学部・工学研究科技術部  
採用年度：平成28年度  
試験区分：化学

1年間のスケジュール

4月	研究室に新たに配属された学生のサポートが主です。担当機器の講習会を開催します。
6月	小中学生向けの科学の催しのスタッフをします。
8月	担当の学生実験が始まります。朝は準備、夜は後片付けです。
10月	卒業・修士論文用の依頼分析やデータ処理に対応します。

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 共同利用機器の維持管理・依頼分析を請け負っています。また、工学部の分子素材工学科で行われている学生実験のサポート、所属する研究室での研究支援・環境整備を行っています。小中学生向けの科学講座など、地域貢献活動に参加することもあります。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 学生時代に出会った技術職員の方々がきっかけです。学生実験、研究共に、理解しながら実験できたことは、次なる意欲と知識探求につながりました。私自身も学生に知る喜びを与えて、貴重で実りある生活を送ってもらえるように導く仕事に就きたいと思いました。また、教職員や学生と共に、新しい技術に携わることができることも魅力でした。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 研究する教員や学生との関わりが多く、公表データになるかもしれない緊張感には常に持っています。ただ、結果が何を示すのか?この不明な結果は何か?など、分析結果を出力するだけではなく、依頼人と一緒に考えて考える時間は、貴重な実践を経て自分が成長するときでもあります。難題もありますが、その分依頼分析を無事終えられたとき、大きな達成感になっています。

Q.4 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 大学には、常に新しい刺激を与えてくれる環境があります。皆さんと切磋琢磨できる日を楽しみにしています。



杉本 風子 Sugimoto Fuko

所属：沼津工業高等専門学校 技術室 物理・化学系班  
採用年度：平成27年度  
試験区分：物理

1日のスケジュール			
8:30	メールチェック	12:15	昼休み
9:00	実験資料の準備	13:00	学生実験
9:30	実験担当教員と打ち合わせ	14:30	実験室清掃
		15:00	書類作成
10:30	学生実験	17:00	業務終了

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 教養科で行われる物理と化学の学生実験の支援が主な業務です。担当教員と打ち合わせをし、学生が授業時間内に無理なく終わられる内容の実験の構成を考えます。実験資料の作成や必要物品の発注、実験器具などの準備から実験中の解説や、実験後の薬品の処理や実験室の管理などを行っています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 学生の頃に技術職員の方にアドバイスを頂いたり技術支援を通してとてもお世話になったので、同じように学生の勉学の手助けがしたくてこの仕事に就きました。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 将来技術者となっていく学生の教育に関われること、そして学生と接する機会が多いことがこの仕事の魅力だと思います。学生の反応を間近で感じることができるので、実験を通して理解を深める姿や様々な経験をし、成長していく姿を見ているとやりがいを感じます。

Q.4 出身校で専攻された分野はどういった内容ですか

**A** 学部では土木工学、大学院では環境科学の分野で地球環境のモニタリングについて研究をしていました。

Q.5 仕事をする場合に、専攻分野と担当業務が異なっても大丈夫ですか

**A** 実際に私は専攻分野と担当業務が少し違っていますが、先輩方や教員の方々に教えてもらえる職場環境なので特に大きな問題を感じることなく仕事を覚えることができました。



で特に大きな問題を感じることなく仕事を覚えることができました。

Q.6 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 他の高専の話聞いていても、どこの高専の技術室も穏やかでとても良い職場環境だと思います。



若尾 裕衣 Wakao Yui

所属：富山高等専門学校 技術室(本郷キャンパス)第二班  
採用年度：平成26年度  
試験区分：電子・情報

1日のスケジュール			
8:30	メールチェック、スケジュール確認		
8:45	技術室のミーティング (本日のスケジュールや連絡事項、ヒヤリハット等の報告)		
9:00	メールチェックやトラブルへの対処、情報演習室の整備等		
10:30	「プログラミング工学」の授業支援		
12:00	昼休み		
12:50	「メカトロ創造設計」の授業支援		
14:20	メールチェックやトラブルへの対処、情報演習室の整備、会議等		

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 主な業務は情報システムや情報ネットワークの管理・保守、情報演習室とそのシステムの管理・保守といった情報センターの業務と、プログラミング系の授業の支援です。それ以外には事務的な業務や高専祭などのイベントでの支援も行っています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 大学生のときに技術職員の方と知り合ったことがきっかけで、大学などには技術職員がいることを知り興味を持ちました。以前から人を支えたり助けたりする職に就きたいと考えていたため、教員や学生の支援を行うこの仕事を選びました。



Q.3 出身校で専攻された分野はどういった内容ですか

**A** 理学部の地球科学科にて気象に関することを学んでいました。主に地球全体をシミュレーションするプログラムを用いていました。

Q.4 試験対策はどのようにされましたか

**A** 一次試験は本屋で問題集を購入し、勉強しました。二次試験は筆記試験と実技試験がありましたが、具体的な出題範囲は公表されていませんでした。機関訪問や公表情報から、就職後は「電気・情報系の班」に割り振られることが分かっていたので、電気系と情報系の資格試験の参考書を読んだり過去問を解いたりしました。

Q.5 仕事をする場合に、専攻分野と担当業務が異なっても大丈夫ですか

**A** 私自身、専攻分野と担当業務が異なっています。分からなくても学ぶ意欲があれば異なってもかまわないと思います。



伊藤 竜樹 Ito Tatsuki

所属：自然科学研究機構 核融合科学研究所 技術部 計測技術課  
採用年度：平成26年度  
試験区分：電子・情報



Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** これまでのところ、実験期間外は研究所内で使用されるシステムの開発や、計測機器・サーバー類の設置・設定作業やメンテナンス、実験用タイミング配信システムの保守管理などを行っています。

特に実験用タイミング配信システムは重要な物なので最近はこちらの比重が大きくなっています。



Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 元々プログラマー志望でもあり、技術支援員として同じ自然科学研究機構の研究所で働いていたこともあったので、その時の経験も活かせるような分野として選択しました。業務の雰囲気がある程度想像ができることも後押ししたように思います。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 新しい技術等に触れる機会や、技術研究会などによる他分野の技術者との交流も多いので刺激があります。また、新しい発電方法の開拓という大きな目標にはやりがいがあります。

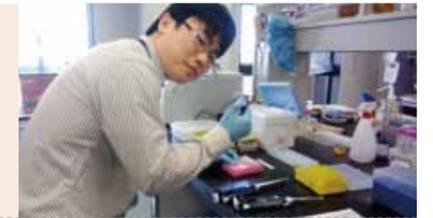
Q.4 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 現在は特に電気・回路・FPGA開発関係の技術職員が不足しているので、そうした分野に興味の有る方はぜひ来ていただくと嬉しいです。



稲橋 宏樹 Inahashi Hiroki

所属：自然科学研究機構 生理学研究所 技術課  
採用年度：平成28年度  
試験区分：農学



Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 配属先の生体膜研究部門で研究の補佐や研究室の管理・運営を行っています。先生方に与えられた研究テーマについての実験を行いつつ、研究室のコンピュータや実験機器、試薬や動物の維持管理も行います。また、研究所の職員として研究会や講義、研究所の行事の運営・支援等にも携わります。



Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 一度は企業に就職しましたが、研究に携わる仕事に就きたいという気持ちが諦めきれずに転職しました。私自身の目指す先が、自身が研究して新しい事を解明する事よりも、裏方として研究者を支援することで社会へ貢献する事であったためこの仕事を選びました。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 研究者を補佐する立場として、常に最新の研究に携わることができます。またその一方で、実験機器やコンピュータの管理などこれまで触れてこなかった幅広い仕事を一手に引き受けます。技術や知識を得るために勉強の毎日ですが、とても充実しています。

Q.4 出身校で専攻された分野はどういった内容ですか

**A** 大学院 生命農学研究科で、作物生産科学、植物生理学の研究を行いました。

Q.5 仕事をする場合に、専攻分野と担当業務が異なっても大丈夫ですか

**A** 大丈夫です。業務の幅がとても広いので、専攻分野だけでカバーすることはできません。日々勉強して様々な業務を覚えていきます。



廣部 まどか Hirobe Madoka

所属：福井工業高等専門学校 教育研究支援センター  
採用年度：平成27年度  
試験区分：農学

1日のスケジュール

- 8:30 メールチェック、一日のスケジュール確認
- 9:00 授業支援  
(授業の時間割によって支援時間は変わります)
- 12:00 昼休み
- 13:00 授業支援
- 16:30 明日の授業準備、明日以降のスケジュール確認
- 17:00 業務終了

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 環境都市工学科と物質工学科の2学科で授業支援をしています。環境都市工学科では測量や衛生工学の実習を、物質工学科では物理化学実験やX線回折装置を用いた実験を支援しています。また専門分野を超えて、技術職員を対象にした研修を企画・運営する研修ワーキンググループ、学内の安全で衛生的な作業環境の確保を目的とした安全衛生プロジェクト、小中学生を対象にした科学啓発ポータルサイトなど各種学内プロジェクトにも関わっています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** この仕事を選んだ理由は、実験・実習・演習を重視した実践的教育を支援することで学生のエンジニアとしての成長を支えつつ、自身も日々学生・教員の両方から幅広い分野を学ぶことができるためです。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 学生の成長を間近で感じられることはもちろんですが、技術職員は作業者と指導者の両面の性質を持つため、授業支援は学生だけでなく自分の勉強にもなります。作業だけでなく実際に教育にも関わることができるのは、とても魅力的だと思っています。



Q.4 試験対策はどのようにされましたか

**A** 受験時は企業に勤めていたため、帰宅し家事を終わらせてから統一採用試験の勉強をしていました。一次試験と二次試験の間が空いていたので、まずは一次試験を通過することを目標に、市販の参考書を用いて苦手分野の克服に努めました。



堀池 俊秀 Horiike Toshihide

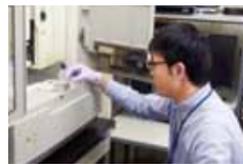
所属：金沢大学 医薬保健研究域 医学系 教育研究支援センター  
採用年度：平成28年度  
試験区分：生物・生命科学

1日のスケジュール

- 8:30 メール確認、1日の作業行程確認
- 9:00 共通機器の点検・メンテナンス作業
- 10:00 研究支援
- 12:00 昼休憩
- 13:00 研究支援
- 15:00 共通機器の点検・メンテナンス作業
- 16:00 共通機器の操作・解析法の習得
- 17:00 業務終了

Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 教育研究支援センターに設置されている共通機器の維持・管理と取り扱い方法の指導を主な業務としています。センターでは多くの設備・機器を所有していますが、特にDNAシーケンサーのメンテナンスを行っています。また、センター所属教員の研究支援をする中で、自らも様々な共通機器を操作して、取り扱い方法の習得に努めています。そして、新規利用者への取り扱い説明や、急に発生した機器トラブルにも正確に対処できるよう心がけています。



共通機器を操作して、取り扱い方法の習得に努めています。そして、新規利用者への取り扱い説明や、急に発生した機器トラブルにも正確に対処できるよう心がけています。

Q.2 この仕事を選ばれた理由は何ですか

**A** 大学・大学院で学んだことを活かし、人をサポートするという立場から、日本の科学の発展に貢献できる仕事がしたいと思い、この仕事を選びました。

Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** これまでに必死で取り組んできた分野の知識・経験を活かして、業務を通して、医学・科学の発展に貢献できること、これが現在の仕事の魅力です。共通機器のメンテナンスや使用方法の説明、機器使用中のトラブルへの対応といった我々の業務によって、利用者の方々が正確な実験をするためのサポートができることにやりがいを感じています。

Q.4 試験対策はどのようにされましたか

**A** 一次試験対策として、問題集に優先的に取り組みました。過去問を1~2年分解いた後に苦手分野を特定→その分野については参考書を用いて集中的に勉強→もう一度同じ過去問に取り組み、このサイクルを繰り返していました。同じ問題を解く際には、「不正解の選択肢はなぜ間違いなのか」を説明できなければ正解としないようにしていました。

Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 技術職員として、大学・研究者の先生方を一緒にサポートしていきましょう！

# 採用後は？

# 昇進の仕組みは？

## どのようにキャリアを積んでいくの？

採用後、具体的にはどのようなキャリアを歩んでいくのでしょうか？  
次ページからは「施設系」「教育研究支援系」のそれぞれのキャリアプロセスをご紹介します。  
どちらの技術職員も、あなたの努力次第で充実したキャリアを積み重ねていくことが可能です。

キャリアプロセス(施設系) P17~

キャリアプロセス(教育研究支援系) P19~



※採用後は本人の努力、勤務成績等により、基本的には下記のとおり上位ポストに昇進していきます。(機関によっては昇任試験を課す場合があります)  
 ※職名、職階については機関により異なる場合があります。また、年齢は目安です。

### 係長



**田中 栄** Tanaka Sakae

所属：福井大学 財務部 環境整備課  
 採用年度：平成2年度

#### 採用後の経歴

平成 2年 4月～平成10年 9月… 石川工業高等専門学校会計課施設係  
 平成10年10月～平成14年 3月… 福井医科大学業務部施設課電気係  
 平成14年 4月～平成16年 3月… 金沢大学施設部設備課設備計画係  
 平成16年 4月～平成17年 3月… 同 施設管理部施設整備課設備計画係  
 平成17年 4月～平成18年 3月… 同 施設管理部施設整備課電気係主任  
 平成18年 4月～平成21年 3月… 同 施設管理部施設業務課電気係主任  
 平成21年 4月～平成24年 3月… 石川工業高等専門学校総務課施設係長  
 平成24年 4月～平成30年 9月… 福井大学財務部環境整備課電気係長  
 平成30年10月～ … 福井大学財務部環境整備課主査

#### Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 大学施設の電気設備（照明設備・コンセント設備・情報設備・防災設備・病院設備等）の維持保全、概算（予算）要求等資料の作成、工事の設計・積算、施工監理及び完成時検査や、省エネルギー・環境マネジメントに関する計画資料等の作成及び報告などを行っています。

#### Q.2 これまでの業務で印象に残っていることを教えてください

**A** 石川工業高専時、異動と同時に寄宿舎（女子寮）新築工事が決定し、1週間で仕上げた概算（予算）要求資料の作成、初めて行う電子入札及び契約、現場では電気設備以外に建築工事と機械設備も担当し、完成させたことが印象に残っています。

#### Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 自分が設計した図面や設備が工事によって完成することで、自分が行ったことが形になって残っていくことに魅力を感じます。また、施設の整備は大学の安全・安心に深く関わっていることから、大変やりがいのある仕事だと感じています。

#### Q.4 今後どのようなビジョンを持って仕事に臨まれるか教えてください

**A** いかに国の財源を利用しない多様な財源（県や財団などの補助金）を利用して工事を行うか、また、維持保全にかかる財源を少なくしていくかなど、専門的なこと以外に広く目を向けて仕事に臨もうと思います。

#### Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 今までの経験や知識、進んで行動できることをアピールして笑顔で元気よくいきましょう！

### 専門員

**杉山 清** Sugiyama Kiyoshi

所属：鈴鹿工業高等専門学校 総務課  
 採用年度：昭和61年度

#### 採用後の経歴

昭和61年 6月～平成 4年 3月… 鈴鹿工業高等専門学校会計課施設係  
 平成 4年 4月～平成 6年 3月… 文部省大臣官房文教施設部名古屋工事事務所(併任)  
 平成 6年 4月～平成 9年 3月… 鈴鹿工業高等専門学校会計課施設係  
 平成 9年 4月～平成10年12月… 鳥羽商船高等専門学校会計課施設係長  
 平成11年 1月～平成19年 3月… 鈴鹿工業高等専門学校会計課施設係長  
 平成19年 4月～平成26年 9月… 同 総務課施設係長  
 平成26年10月～ … 同 総務課専門員(施設担当)



#### Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 施設整備計画の立案、予算要求書の作成、改修や営繕工事の設計・積算・工事監理、保守点検・運転監視等の維持管理業務、エネルギー管理等の工業高専環境のサポート業務等を行っています。  
 その他、計画的なキャンパス整備を行うことを目的として、既存施設の現状を踏まえ、施設・屋外環境の整備充実等の方向性について示した「キャンパスマスタープラン」の見直しを進めています。

#### Q.2 これまでの業務で印象に残っていることを教えてください

**A** 別々の建物として整備されていた図書館と情報処理センターを基本計画・予算要求・各部署との調整・積算・工事監理を行い、図書館の増改修によりマルチメディア棟としてこの事業の全てに携わることができたことです。

#### Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 自分が基本計画した新規建物、既存建物の改修など現存する物を、更なる改善点や反省点として見ることができ、たくさんの方からの叱咤激励から、更により良い物を作りたいと思うことです。

#### Q.4 今後どのようなビジョンを持って仕事に臨まれるか教えてください

**A** 常に向上心を持ち、発想力、調整力、実行力、問題解決力、柔軟性など、たくさんの方々の協力があり、行うことができる仕事であるため、様々な方のアドバイスを受けながらより良い教育研究環境を目指します。

#### Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 教育や研究を行う施設の計画から維持管理など学生・教職員にとって居心地の良い空間プロデュースを行う仕事です。



# キャリアプロセス

## 教育研究支援系技術職員

※採用後は本人の努力、勤務成績等により、基本的には下記のとおり上位ポストに昇進していきます。(機関によっては昇任試験を課す場合があります)  
 ※職名、職階については機関により異なる場合があります。また、年齢は目安です。

### 専門職員

#### 中尾 卓嗣

Nakao Takuji

所属：豊田工業高等専門学校  
 技術部第1技術グループ  
 採用年度：平成16年度



#### 採用後の経歴

平成3年4月～平成16年3月… 工作機械メーカーで技術職として勤務  
 平成16年4月～平成17年6月… 沖縄工業高等専門学校学生課技術職員  
 平成17年7月～平成18年3月… 同 学生課技術専門職員  
 平成18年4月～平成20年3月… 同 技術支援センター技術専門職員  
 平成20年4月～平成21年3月… 同 技術支援室技術専門職員  
 平成21年4月～ … 豊田工業高等専門学校技術部技術専門職員

#### Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 実習工場である「ものづくりセンター」に所属し、利用する学生達が安全に楽しく「ものづくり」が進められるよう、安全面や工作面での指導を行っています。また、機械工学科の学生向けの実習教育を担当し、「ものづくり」に関する工作機械の使用方を説明している他、研究に必要な依頼加工品を製作することもあります。

#### Q.2 これまでの業務で印象に残っていることを教えてください

**A** アイデア対決ロボットコンテストに参加する学生達の技術支援業務も行っていきます。困難を乗り越え、新たな発想を形にし、ものづくりを通して成長していく学生達の姿から学ぶことも多く、印象に残っています。

#### Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 自分自身がこれまでに歩んできた職歴が財産となり、現在の業務に反映できていることに魅力を感じています。また、私自身が高専の卒業生でもあり、高専教育に携わっていることにも、やりがいを感じています。

#### Q.4 今後どのようなビジョンを持って仕事に臨まれるか教えてください

**A** 「ものづくりセンター」内で、笑顔で楽しく「ものづくり」に取り組める環境を維持すると共に、これまで培ってきた私の技術を若手職員に伝えていくことも重要な業務として取り組んでいきたいと考えています。

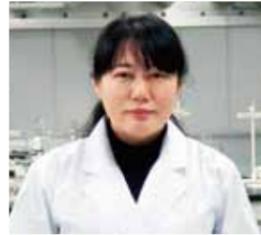
#### Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 「ものづくり」や「工作機械」に関心や知識を持つ皆さん、私達機械系技術職員の仲間になりませんか？

#### 布川 圭子

Nunokawa Keiko

所属：名古屋工業大学  
 技術部 計測分析課  
 採用年度：平成11年度



#### 採用後の経歴

平成11年11月～平成15年3月… 名古屋工業大学 大学院都市循環システム工学専攻  
 平成15年4月～平成17年3月… 同 技術部  
 平成17年4月～平成20年3月… 同 技術部技術課  
 平成20年1月～平成20年3月… 同 技術部技術課技術専門職員  
 平成20年4月～平成24年7月… 同 技術部研究基盤課技術専門職員  
 平成24年8月～平成26年3月… 同 技術部研究基盤課技術専門職員  
 平成26年4月～ … 同 技術部計測分析課技術専門職員

#### Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** 主な業務は学生実験関連で、2年生対象の化学実験および3年生対象の専門実験の準備から実験指導までを行っています。この他、安全管理室関連の業務として各研究室で薬品を管理するためのシステム管理や実験によって排出される廃液の回収、産学官金連携機構(設備共用部門)でNMR装置の管理業務も担当しています。

#### Q.2 これまでの業務で印象に残っていることを教えてください

**A** 研究室業務を行う中で博士号を取得したこと、その際合成した新規化合物が「2000年以降10年間の低電子価クラスター化学の中でも特筆すべき成果」としてDalton Trans.誌の総説中に引用されたことです。自分の仕事が評価されたことを大変嬉しく感じました。

#### Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 入職当初は研究室での研究補助業務、現在は化学実験室での学生指導から全学的な安全管理や研究支援に関する業務まで幅広く携わっていますが、いずれの業務でも大学の主体である教育及び研究に直接的に貢献できるところにやりがいを感じます。

#### Q.4 今後どのようなビジョンを持って仕事に臨まれるか教えてください

**A** 現在は入職時には想像もしていなかった業務に就いていますので、今後も新しい仕事に携わることもあるかと思いますが、どのような場合でも関連する技術や知識を高め、専門職として頼られる存在であるように努めていきたいと思っています。

#### Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 大学での技術職員の業務は教育・研究支援、地域貢献など多岐に渡りますが、その分やりがいもあります。是非挑戦してみてください。

#### 田中 昌二 Tanaka Akiji

所属：岐阜大学 情報連携統括本部  
 採用年度：平成9年度

#### 採用後の経歴

平成9年4月～平成15年3月… 岐阜大学総合情報処理センター技術職員  
 平成15年4月～平成16年7月… 同 総合情報メディアセンター技術職員  
 平成16年8月～平成17年3月… 同 学術情報部情報管理課技術職員  
 平成17年4月～平成21年7月… 同 学術情報部情報戦略課技術職員  
 平成21年8月～平成22年3月… 同 学術情報部情報戦略課技術専門職員  
 平成21年8月～平成22年3月… 同 学術情報部情報戦略課基幹システム係長(兼任)  
 平成22年4月～平成27年3月… 同 学術国際部情報戦略課技術専門職員  
 平成22年4月～平成27年3月… 同 学術国際部情報戦略課基幹システム係長(兼任)  
 平成27年4月～平成29年3月… 同 情報部情報連携課技術専門職員  
 平成27年4月～平成29年3月… 同 情報部情報連携課基幹システム係長(兼任)  
 平成29年1月～ … 同 情報セキュリティ最高責任者(CISO)補佐(任命)  
 平成29年4月～平成30年3月… 同 情報部情報連携課情報技術室技術専門職員  
 平成30年4月～ … 同 情報連携統括本部情報連携調整役技術専門職員



#### Q.1 現在の仕事内容について教えてください

**A** キャンパス情報ネットワークや統合認証、電子メール、LMS、グループウェアといった全学の情報インフラにおける設計・構築・保守・運用、情報セキュリティの維持・インシデント対応における技術的サポート及び各部署が運用する個別システムの構築・運用に関する技術支援などです。

#### Q.2 これまでの業務で印象に残っていることを教えてください

**A** 「情報系センター協議会」「情報センター等担当者技術研究会」といった場に参加し、全国の情報系技術職員との間に人的ネットワークが構築できました。技術職員は学内に同分野の専門家がいなかったため、こうした学外同業者との連携は重要です。

#### Q.3 仕事の魅力・やりがいについて教えてください

**A** 自身の技術向上に業務として取り組むことができ、その結果として、自身が構想・設計したシステムを全学の教職員・学生が利用する形で実現できることです。また、その構築過程でさらなる技術向上を図れるところです。

#### Q.4 今後どのようなビジョンを持って仕事に臨まれるか教えてください

**A** 全学で利用する共通の情報インフラについてはある程度のシステム化が実現できたため、今後は全学の情報資産を集約して有効活用できる情報活用基盤の実現を目指し、学内の各業務システムとの連携を図りたいです。

#### Q.5 これから職員を志す受験者へ一言お願いします

**A** 技術職員は1つの分野に特化してそれを極めることができる職種だと思います。皆さん、是非がんばってください。



Do my best!!

20代～30代

技術職員



Challenging & growing up

技術専門職員

30代～40代

40代後半～

技術専門員

Knowledge & experience



技術長

Career Process



# 機関の紹介

EMPLOYMENT INFORMATION



## 国立大学法人

- 01 富山大学** 採用担当：総務部人事課  
<https://www.u-toyama.ac.jp/>  
 ☎076-445-6017 ✉jinjikikaku@adm.u-toyama.ac.jp  
 〒930-8555 富山県富山市五福3190  
 DATA：全教職員数（常勤）2,295名（うち：事務職員370名、図書職員17名、技術職員78名）
- 03 北陸先端科学技術大学院大学** 採用担当：人事労務課人事係  
<https://www.jaist.ac.jp/index.html>  
 ☎0761-51-1061 ✉jinji@jaist.ac.jp  
 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1  
 DATA：全教職員数（常勤）301名（うち：事務職員128名、図書職員1名、技術職員24名）
- 05 岐阜大学** 採用担当：人材開発部人事給与課人事給与係  
<https://www.gifu-u.ac.jp/>  
 ☎058-293-2018 ✉gjdpo1004@jim.gifu-u.ac.jp  
 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1  
 DATA：全教職員数（常勤）2,194名（うち：事務職員334名、図書職員7名、技術職員88名）
- 07 浜松医科大学** 採用担当：人事課任用係  
<https://www.hama-med.ac.jp/>  
 ☎053-435-2117 ✉ssn@hama-med.ac.jp  
 〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1丁目20-1  
 DATA：全教職員数（常勤）1,327名（うち：事務職員132名、図書職員3名、技術職員11名）

- 02 金沢大学** 採用担当：総務部人事課人事総務係  
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>  
 ☎076-264-6147 ✉jinji@adm.kanazawa-u.ac.jp  
 〒920-1192 石川県金沢市角間町  
 DATA：全教職員数（常勤）2,898名（うち：事務職員431名、図書職員13名、技術職員81名）
- 04 福井大学** 採用担当：総務部人事労務課  
<https://www.u-fukui.ac.jp/>  
 ☎0776-27-9854 ✉bjinji@ml.u-fukui.ac.jp  
 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1  
 DATA：全教職員数（常勤）1,843名（うち：事務職員266名、図書職員4名、技術職員44名）
- 06 静岡大学** 採用担当：総務部人事課人事係  
<http://www.shizuoka.ac.jp/>  
 ☎054-238-4415、4416 ✉ninyou@adb.shizuoka.ac.jp  
 〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836  
 DATA：全教職員数（常勤）1,120名（うち：事務職員223名、図書職員14名、技術職員77名）
- 08 名古屋大学** 採用担当：総務部人事課（第一人事担当）  
<http://www.nagoya-u.ac.jp/>  
 ☎052-789-2028、5808 ✉jj2028@adm.nagoya-u.ac.jp  
 〒464-8601 愛知県名古屋市中区千種区不老町  
 DATA：全教職員数（常勤）5,072名（うち：事務職員638名、図書職員51名、技術職員211名）

- 09 愛知教育大学** 採用担当：人事労務課人事係  
<https://www.aichi-edu.ac.jp/>  
 ☎0566-26-2124 ✉ninyo@m.auecc.aichi-edu.ac.jp  
 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1  
 DATA：全教職員数（常勤）540名（うち：事務職員132名、図書職員5名、技術職員4名）
- 11 豊橋技術科学大学** 採用担当：総務課人事係  
<https://www.tut.ac.jp/>  
 ☎0532-44-6507 ✉jinji@office.tut.ac.jp  
 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1  
 DATA：全教職員数（常勤）359名（うち：事務職員112名、図書職員2名、技術職員21名）

- 10 名古屋工業大学** 採用担当：人事課人事係  
<https://www.nitech.ac.jp/>  
 ☎052-735-5012 ✉jinji@adm.nitech.ac.jp  
 〒466-8555 愛知県名古屋市中区御器所町  
 DATA：全教職員数（常勤）521名（うち：事務職員119名、図書職員5名、技術職員50名）
- 12 三重大学** 採用担当：企画総務部人事労務チーム人事・評価担当  
<http://www.mie-u.ac.jp/>  
 ☎059-231-9014 ✉j-jinji@ab.mie-u.ac.jp  
 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
 DATA：全教職員数（常勤）2,057名（うち：事務職員299名、図書職員5名、技術職員64名）

## 大学共同利用機関法人

- 13 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所** 採用担当：総務企画課人事・労務チーム  
<https://www.nig.ac.jp/nig/ja/>  
 ☎055-981-6716 ✉nigjinji@nig.ac.jp  
 〒411-8540 静岡県三島市谷田1111  
 DATA：全教職員数（常勤）96名（うち：事務職員19名、図書職員0名、技術職員12名）
- 15 自然科学研究機構 基礎生物学研究所** 採用担当：自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務課人事係  
<http://www.nibb.ac.jp/>  
 ☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp  
 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38  
 DATA：全教職員数（常勤）132名（うち：事務職員58名、図書職員0名、技術職員26名）
- 17 自然科学研究機構 分子科学研究所** 採用担当：自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務課人事係  
<https://www.ims.ac.jp/>  
 ☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp  
 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38  
 DATA：全教職員数（常勤）148名（うち：事務職員58名、図書職員0名、技術職員30名）

- 14 自然科学研究機構 核融合科学研究所** 採用担当：管理部総務企画課人事係  
<http://www.nifs.ac.jp/>  
 ☎0572-58-2013 ✉jinji@nifs.ac.jp  
 〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6  
 DATA：全教職員数（常勤）230名（うち：事務職員41名、図書職員1名、技術職員46名）
- 16 自然科学研究機構 生理学研究所** 採用担当：自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務課人事係  
<https://www.nips.ac.jp/>  
 ☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp  
 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38  
 DATA：全教職員数（常勤）134名（うち：事務職員58名、図書職員0名、技術職員26名）
- 18 自然科学研究機構 岡崎統合事務センター** 採用担当：総務課人事係  
<https://www.nins.jp/>  
 ☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp  
 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38  
 DATA：全教職員数（常勤）58名（うち：事務職員58名、図書職員0名、技術職員0名）  
※事務職員数は岡崎統合事務センターの職員数を記載しています。

## 独立行政法人国立高等専門学校機構

- 18 富山高等専門学校** 採用担当：総務課人事労務担当  
<https://www.nc-toyama.ac.jp/c5/>  
 ☎076-493-5491 ✉jinji@nc-toyama.ac.jp  
 〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地  
 DATA：全教職員数（常勤）213名（うち：事務職員54名、図書職員3名、技術職員25名）
- 20 福井工業高等専門学校** 採用担当：総務課人事労務係  
<https://www.fukui-nct.ac.jp/>  
 ☎0778-62-8202 ✉jinji@fukui-nct.ac.jp  
 〒916-8507 福井県鯖江市下司町  
 DATA：全教職員数（常勤）117名（うち：事務職員24名、図書職員1名、技術職員16名）
- 22 沼津工業高等専門学校** 採用担当：総務課人事係  
<http://www.numazu-ct.ac.jp/>  
 ☎055-926-5713 ✉jinji@numazu-ct.ac.jp  
 〒410-8501 静岡県沼津市大岡3600  
 DATA：全教職員数（常勤）126名（うち：事務職員32名、図書職員0名、技術職員15名）
- 24 鳥羽商船高等専門学校** 採用担当：総務課人事労務係  
<http://www.toba-cmt.ac.jp/>  
 ☎0599-25-8014 ✉soumu-jinji@toba-cmt.ac.jp  
 〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1  
 DATA：全教職員数（常勤）98名（うち：事務職員26名、図書職員0名、技術職員11名）

- 19 石川工業高等専門学校** 採用担当：総務課人事労務係  
<http://www.ishikawa-nct.ac.jp/>  
 ☎076-288-8012 ✉jinji@ishikawa-nct.ac.jp  
 〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条  
 DATA：全教職員数（常勤）115名（うち：事務職員24名、図書職員2名、技術職員15名）
- 21 岐阜工業高等専門学校** 採用担当：総務課総務・企画係  
<http://www.gifu-nct.ac.jp/>  
 ☎058-320-1219 ✉souki@gifu-nct.ac.jp  
 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2  
 DATA：全教職員数（常勤）118名（うち：事務職員28名、図書職員0名、技術職員12名）
- 23 豊田工業高等専門学校** 採用担当：総務課人事労務係  
<https://www.toyota-ct.ac.jp/>  
 ☎0565-36-5903 ✉jinji@toyota-ct.ac.jp  
 〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2-1  
 DATA：全教職員数（常勤）117名（うち：事務職員29名、図書職員0名、技術職員13名）
- 25 鈴鹿工業高等専門学校** 採用担当：総務課人事給与係  
<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>  
 ☎059-368-1712 ✉jinji@jim.suzuka-ct.ac.jp  
 〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町  
 DATA：全教職員数（常勤）122名（うち：事務職員26名、図書職員0名、技術職員16名）

## 独立行政法人国立青少年教育振興機構

- 26 国立立山青少年自然の家** <http://tateyama.niye.go.jp/>
- 27 国立能登青少年交流の家** <http://noto.niye.go.jp/>
- 28 国立若狭湾青少年自然の家** <http://wakasawan.niye.go.jp/>
- 29 国立乗鞍青少年交流の家** <http://norikura.niye.go.jp/norikura/>
- 30 国立中央青少年交流の家** <https://fujinosato.niye.go.jp/>

TOKAI HOKURIKU